



かない のぶやす
発案者 **金井 庸泰** 氏
(株式会社御所坊専務)

フィジカルeスポーツを通じた 地域の魅力発信

06

一般社団法人有馬温泉観光協会

Data

加盟事業者数：約200社

活動内容：有馬温泉およびその周辺地域における観光資源の保護・活用、観光客の誘致、宣伝等

💡 ここがポイント！

- ❑ デジタル技術やフィジカルeスポーツとのシナジーにより、埋もれていた観光コンテンツを発掘
- ❑ 地元店舗等からの支持や協力を獲得
- ❑ 幅広い層を対象とするユニバーサルスポーツに着目

1. 団体概要

「関西の奥座敷」であり、日本最古の温泉と言われている有馬温泉。そんな有馬温泉の魅力を国内外に向けて発信すべく、イベントや観光施設紹介等を行っているのが有馬温泉観光協会である。



2. 取組の背景

有馬の良さをどう伝えるか

有馬温泉は、日本3名泉としての知名度や自然豊かな六甲山等が近接しているという強みを持つものの、観光地のコモディティ化が進む中、特に若年層の集客に課題を持っていた。そのような状況を打破するコン



テンツを検討していた際、金井氏は、近年若年層を中心に市場が急拡大しているeスポーツの魅力に目をつけ、特に観光との親和性の高い「eサイクル」に組み込むことで、有馬温泉の魅力を幅広い層に周知することができる考えた。

3. 取組の内容

バーチャルサイクリングアプリとの提携

世界中で利用されている海外のバーチャルサイクリングアプリである「ROUVY」と提携し、有馬温泉～六甲山のヒルクライムコースを同アプリ内に組み込んだ。世界中のeサイクル愛好家が、自宅に居ながら有馬温泉の街並みを楽しめるようになった。





▲有馬温泉を拠点とするeスポーツチーム



▲関西初のeスポーツ観戦バー

フィジカルeスポーツイベントの実施

有名プロサイクリストを招待し、eサイクルイベントを有馬温泉で開催。多くのeサイクル愛好家や有馬温泉の観光客、さらに障がい者の参加も積極的に募ったことで、ユニバーサルスポーツとして幅広い層がイベントに参加し、温泉街全体で盛り上がりを見せた。

持続可能なサイクルツーリズムの促進

もともと都市部に近接していることから、有馬～六甲山・摩耶山はサイクリストがよく訪れるコースであったものの、観光資源として活かしきれていなかった。そこで、あらためて計画的な受入環境の整備に着手。具体的には、eバイクガイド指導のもとヒルクライムを楽しめるツアーの実施や、eバイクのレンタル・駐輪・充電スポット及びサイクリストプロテインBARを設置した。

4. 工夫した点

地元関係者の巻き込み

サイクルツーリズムやeスポーツ文化が根付いていなかった有馬温泉で、このような取組を推進するには、地元関係者の巻き込みが不可欠だったと金井氏は語る。観光客増加に繋がるメリット等、関係者と共通の認識を持ち、協力体制が構築できたことで、新しい客層に向けた施策に前向きに取り組むことができた。

また、有馬温泉を拠点とするeスポーツチームを観光協会後援で発足し、温泉街で働く若者を動員。働きがい向上にも繋がっているという。

5. 成果

新しい客層の取り込みに成功

バーチャルとリアル両面からのアプローチにより、これまでの温泉目当ての客層だけでなく、eサイクルイベント参加やサイクルツーリズムを目的に来訪する観光客が増加。各種メディアでの露出もあり、バーチャルレース第2回大会の参加者は、第1回大会から倍増した。



▲eサイクルイベントのイメージ

6. 今後の展望

サイクリングのライト層へのアプローチ

今後も同様のイベントを継続して実施するとともに、自転車に興味を持たない層が気軽に体験できるような、現地でのeサイクル体験や短距離コースの造成を進める。また、アフターコロナにおいては、バーチャルサイクルアップチ内で有馬温泉に興味を持ったインバウンドの誘客も見据えているようだ。

取組の関連情報はこちら

・ Tour de ARIMA
<http://tourde.arima-onsen.com/>